令和5年度

COMPASS・新下関駅前

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議日：令和5年10月13日
公表日：令和6年 2月20日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか	7		国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。 感染拡大を未然に防ぐことができるよう、机の配置や児童と職員間の適切な距離に配慮しております。	
	2	職員の配置数は適切であるか	7		国の定める配置基準を満たしたうえで、基準以上の人員数を配置しております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2	事業所内はバリアフリーとなっていますが玄関には段差があるため状況に応じて職員が見守り付き添っております。	現在、事業所内での車椅子利用の児童はいませんが、必要に応じて玄関入口のバリアフリーにを協議・検討してまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（日標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		毎日の朝礼で業務の連絡、療育内容の確認などを話し合いの場を設けております。 また月一回リフレクション会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などを話し合う中で職員が情報を共有し、共通理解に努めております。	
	5	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		年に一度のアンケート調査での集計内容を職員間で共有しながら業務改善に努めております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や公式Web サイト等で公開している	7		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	7	第三者による外部評価を行っており、評価結果を業務改善につなげている		7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		定期的な社内研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保しております。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっています。 また、関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った支援計画を作成しております。	
	10	児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		社内共通様式で標準化されたアセスメントシートを使用し、内容を元に支援計画の作成へと繋げております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		児童の特性や課題に応じて、活動プログラムを話し合い、常にチームで立案しております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		習慣化と定着をめざし、繰り返しの療育をおこないますが、日々の記録から連絡を確かめ、児童の発達や成長に適した個別の課題を考えております。 職員それぞれの工夫や関わり方に変化をつけ、イベント今事前の製作等に入れることで、固定化しないよう努めております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		平日は放課後の限られた時間内でおこなえる課題を設定しておりますが、休日や長期休暇にはそれに付加えて家族から見聞き取り入れて支援しております。	
	14	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7		個別療育を基本としておりますが、保護者様のご意向の聞き取り調査をもとに集団活動を取り入れた児童の特性に応じた支援計画を作成しております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎朝、必ず打ち合わせをおこない、その日の支援の内容や役割分担、環境設定などをおこなっております。 また、児童の様子を確認し、共通認識を図っております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		支援終了後には全職員での打ち合わせが難しい場合もありますが、感想や気づき、問題点など共有しております。 勤務時間の関係で帰宅している職員には翌日の朝礼で必ず報告し、記録も残すように努めております。	
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		支援内容やその日の体調等を記録し、気になったことは職員間で共有することで支援の改善や検証に取り組んでおります。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		基本的に半年に一度ですが、その都度必要に応じてモニタリングをおこない、現状の把握をして見直しの必要性を判断しております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7		児童・保護者様のご意向や課題を踏まえたうえでガイドラインに沿い、支援に必要な項目を選択して具体的な支援内容の設定に努めております。	
関係機関や保護者様との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		対象児童について職員間で話し合い、サービス担当者会議には児童の状況に精通した児童発達支援管理責任者が参画しております。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7		保護者様から学校行事や時間変更を教えていただき、学校との情報共有や連絡調整をおこなっております。 また、送迎時に学校の先生方と児童の様子を伝え合うことで適切な支援をおこなえるよう努めております。	
	22	医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、児童の主治医等と連絡体制を整えている		7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重度心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		サービス担当者会議などの話し合いの場を通して、支援内容についての情報共有と相互理解を図っております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		7	現在まで該当する児童がいないため、提供には至っておりません。	今後、児童が卒業し移行が必要となった場合に向けて日頃からしっかりと記録を残し、十分な情報を提供することができるよう努めてまいります。
	25	児童発達支援センター・発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		子ども相談の研修、酒所分科会に毎回参加し助言を受けるなどして情報を得ております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流など外部との活動する機会がある		7	現時点では事業所主催の交流の機会は企画できておりません。	保護者様の個々のニーズを同じご意向を踏まえたうえで、交流に関して協議・検討をしてまいります。
	27	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7		月に一回子ども部会・酒所分科会が開催されており、児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	28	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		連絡帳でのやりとりや送迎時、お迎えの際に保護者様に様子を お伝えし、共通理解を持って良い支援へと繋げていけるよう努めております。	
	29	保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6	1	保護者様からのご相談は丁寧に聞き取り、助言や提案をさせていただいております。	保護者様の不安や悩みごとがある際には、解決への糸口に少しでもなれるよう、事業所から も積極的な働きかけを心掛けてまいります。
保護者様への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に重要事項説明書、契約書に基づき説明をおこなっております。 内容に変更があった際には保護者様に丁寧なご説明を心掛けております。	
	31	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		送迎時や電話等で相談を受けた際には、随時対応をおこない、日頃から相談しやすい環境作りへの配慮にも心掛けております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している		7	現時点では保護者会の開催はできておりません。	保護者様の個々のニーズを同じご意向を踏まえたうえで、保護者様同士の交流に関して協議・検討をしてまいります。
	33	児童や保護者様からの苦情に対して、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		ご相談中申し入れについては迅速に対応し全職員で情報を共有していけるよう体制を整えております。 また、苦情への相談窓口も設けており、契約時にご説明しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	7		季節ごとのCOMPASS だよりや、公式 Web サイトのブログ、また毎月、事業所カレンダーを発行しております。 事業所カレンダーでは毎月の活動の概要、前月の写真を掲載することで保護者様に療育や活動の様子を お伝えできるよう努めております。	
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	7		法人の定める個人情報保護規則に則って、名前の表示・状態などの流布、事業所内での公開等、全職員十分に注意しており、書類破棄の際にはシュレッダーにかけるなど厳新の注意を払っております。 また、個人情報ファイルは鍵付き書庫にて保管しております。	
	36	障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		児童の特性に適した意思の疎通や情報伝達を使い、保護者様へも専門用語を避けたわかりやすい情報伝達を心掛けております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7		現時点では地域住民をご招待する機会を設けるに事業運営はできておりません。	適所を公にしたくない保護者様もおられるため、慎重に検討をおこない、保護者様のご意向を踏まえたうえで事業所運営をおこなえるよう努めてまいります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		各マニュアルはすぐに確認できるよう室内に掲示しております。 また年間計画を立て、児童と共に避難訓練を実施しております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		児童の命を守ることを第一に考え、避難訓練では児童の特性に応じた避難方法を考慮して実施しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待に関する研修をおこない、虐待防止マニュアルに沿って対応しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		契約時に身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護するために、やむを得ず必要となる場合においては、保護者様の承諾を得るようにしております。	
	42	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応ができている	7		契約時に保護者様から聞き取りを行い、しっかりと把握できるように努めております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ヒヤリハットがあった際には報告書を作成し職員間で話し合いの場を設けております。 職員間での認識一致をすることで再発防止となるよう努めております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。